

明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会 第2回 里地里山保全利活用専門部会
議事要旨

- 1 開催日時：平成29年2月28日（火）15：00～16：00
- 2 開催場所：明治大学黒川農場 1階会議室
- 3 出席者：[座長] 佐倉特任教授
[部会員] 立川委員、野島委員、市川委員、越畑委員、松原委員、深澤委員、
久延委員、小川委員、栗林委員、山中委員
[事務局] 川崎市建設緑政部 緑の協働推進課 荏澤課長、池田係長、遠藤
主任
コンサルタント（株）UR リンケージ 牧野、會田

4 議事：

（1）平成28年度の取り組み（結果報告）について

＜主な意見＞

1) 竹あんどんづくりについて

- ①今回は人数が少なかったというが、団体としては、どれくらいの人数まで対応できるのか。
- ②子どもを相手にするなら15人くらいまでなら対応可能である。ただ、穴をあける技術レベルが違うので、子どもと大人の両方を一度にやるイベントは難しい。
- ③収穫祭で展示即売ができて、取り組みをPRできたのがとてもよかった。
- ④いつでも竹を伐れるわけではないので、対応できる時期が限られる。伐れる時期に、一度に伐っておくことも考えられるが、劣化してしまうので、明治大学の先生等で竹の保存や劣化しにくい加工に関する知恵があれば、ぜひ教えてほしい。
- ⑤県内で竹行燈づくりに取り組んでいる事例があるか調べておく。
- ⑥収穫祭の展示即売会では、5点売れた。初めてにしてはとてもよい結果だと考えている。売れるような作品のデザインなども勉強していきたい。

2) <里山の保全管理> 里山保全活動体験

- ①前回の保全活動体験では、竹引きのノコギリでササ狩りを行ったが、今回は鎌の使い方や手入れの方法なども地元のみなさんにレクチャーしてもらった上で実施した。（事務局）
- ②鎌を初めて使う人が多かったが、とてもきれいに刈れてよかった。ただ、参加者が少なく、目標の面積には至らなかった。
- ③先日の保全活動体験に職員が参加したが、とても丁寧なレクチャーでよかったと聞いている。人数や面積など、目標数値を設定するとよいのではないか。
- ④目標値の設定などについては現在、無理をせずにやれるところまでをやってみよ

う、ということで実施している。設定すると参加者に義務感が発生したり、安全面の配慮も必要になるので、現段階では定めていない。(事務局)

- ⑤2年に1度、神奈川県で里山のシンポジウムを行っているが、都市部の方が参加する傾向がみられるので、もっと広域的に広報をやれるとよい。
- ⑥今後は広域的にも広報するとともに、近隣小中学校にも積極的に呼びかけていきたい。(事務局)
- ⑦せっかくの機会なのに交流機会が少なかったということがアンケートにあったので、作業の後で大変かもしれないが、交流できるとよい。

(2) 平成 29 年度の実施計画(案)について

- ①来年度も今年度の踏襲ということになるが、よろしいか。

※概ね了承。

(3) 今後の予定

- ①3月23日に協議会本会議がある。また来年度6月頃に専門部会を開催する予定である。

以上